

科目名	子育て支援				担当	市東 賢二		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年後期	実務経験	—	
必修	保育士：必修				ナパリング	Y3307	DPとの関連	4・免1
授業概要	保育者の行う支援には、利用児・者を対象としたケアの他に、保育支援サービスの利用者としての家族や家庭がある。保育者の専門的知識や技術として、利用児・者への直接支援のみならず、家族や家庭を対象とした相談支援(間接支援)を学び理解することが求められている。そうした背景を理解し、保育者の行う子育て支援について学ぶ。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> 保育士の実行保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解する 保育士の実行子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例を通して具体的に理解する 							
授業計画	回	内容						
	1	保育士の実行子育て支援の特性①	子どもの保育とともに行う保護者の支援					
	2	保育士の実行子育て支援の特性②	日常的・継続的なかかわりを通じた保護者との相互理解と信頼関係の形成					
	3	保育士の実行子育て支援の特性③	保護者や家庭の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解					
	4	保育士の実行子育て支援の特性④	子ども・保護者が多様な他者と関わる機会や場の提供					
	5	保育士の実行子育て支援の展開①	子ども及び保護者の状況・状態の把握(グループワーク)					
	6	保育士の実行子育て支援の展開②	支援の計画と環境の構成(グループワーク)					
	7	保育士の実行子育て支援の展開③	支援の実践・記録・評価・カンファレンス(グループワーク)					
	8	保育士の実行子育て支援の展開④	職員間の連携・協働と社会資源の活用、自治体・関係機関や専門職との連携・協働(グループワーク)					
	9	保育士の実行子育て支援とその実際①	保育所等における支援(グループワーク)					
	10	保育士の実行子育て支援とその実際②	地域の子育て家庭に対する支援(グループワーク)					
	11	保育士の実行子育て支援とその実際③	障害のある子ども及びその家庭に対する支援(グループワーク)					
	12	保育士の実行子育て支援とその実際④	特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援(グループワーク)					
	13	保育士の実行子育て支援とその実際⑤	子ども虐待の予防と対応(グループワーク)					
	14	保育士の実行子育て支援とその実際⑥	要保護児童等の家庭に対する支援(グループワーク)					
15	保育士の実行子育て支援とその実際⑦	多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解(グループワーク)						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 保育士の実行保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解している。 保育士の実行子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例を通して具体的に理解している。 							
評価方法	期末試験 60% その他 40% (授業内で指示する課題の内容を評価)							
フィードバック 方法	授業中の課題は、採点後返却し、講評する							
アクティブ ラーニング	グループワーク							
教科書	『基礎から学ぶ子育て支援の実際』 大学図書出版							
参考書	講義中に提示する							
履修条件	本講義を受講するにあたって必要となる基礎知識を有すること							
授業外学習	事前学習：授業計画で示された事項について、日常的に好奇心をもち、読書(教科書関連箇所含む)や友人との討議の機会をつくり思考を深めること 事後学習：授業で扱われた事項に関する学びと自己の課題を考察すること							
オフィスアワー	3階第9研究室 citeaux@uedawjc.ac.jp							